

平成27年度夏期＋秋冬期 楢葉町D shuttle結果解析

Ver.1(20160229)

福島県立医科大学

放射線健康管理学講座 助手

宮崎 真

平成27年度秋冬期D shuttle解析概要

- 電池交換回収時に同意を得た12本のDシャトルの測定結果を解析。
- 測定期間は概ね2015年10月～2016年1月にかけて。
- 2本を除き、基本的に携帯していただいていることが確認された。行動記録と線量が若干不一致のところもあるが、許容範囲内と思われた。
- 10本の内訳は宿泊者が3名、日帰りが6名、業務での立ち入りが1名。
- 宿泊者3名と日帰り者のうち2名は檜葉での滞在時間が長く、生活線量の推定に適していると考えられる:グループ1。
- 日帰り者のうち4名および業務の方1名については、滞在時間が短く、生活線量の評価が難しいため説明のみとしたい:グループ2。
- 携帯していない2本は、入退域時間がわからない、自宅に置き放した、などが聞き取りで明らかになっているため除外した:グループ3。
- グループ1については、これまでに檜葉町で評価された帰還後の生活線量の実績に組み込み、新たに公表用の分布に加えることにしたい。

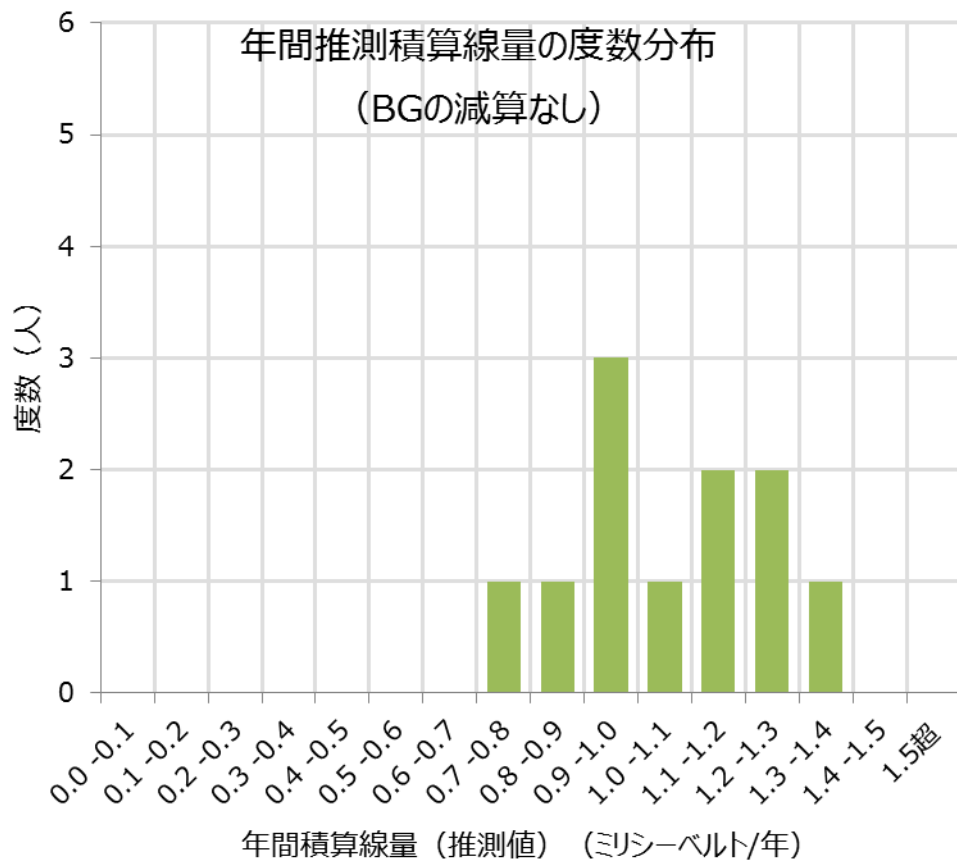
解析の方法と出力、説明

- 所持者がDシャトルを携行し、かつ檜葉町に滞在した時間帯のデータを抜き出し、積算値と所持時間から、簡便に年間推測積算線量を計算した。檜葉町滞在に関しては行動記録から判断し、結果に応じて24時間データを参照し確認を行った。
- 檜葉町滞在時間が長く、かつ常時携行が確認出来た方については、年間推測積算線量を2015年夏期の集計に加えることにした。文書にもその旨は記載があるが、なおご本人にも対面で詳細な説明を行った。
- 追加線量を推測するためのBGには、1時間あたり0.04マイクロシーベルトから計算される年0.35ミリシーベルトを追加線量の推測に用いた。

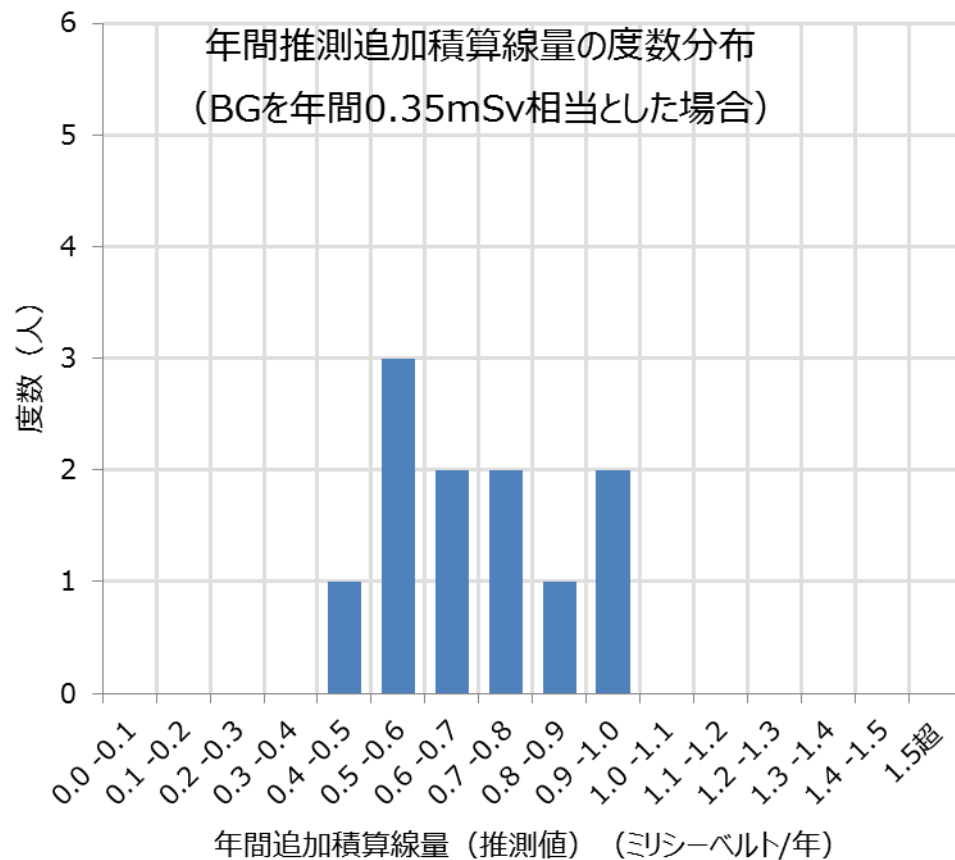
※座談会＋個人説明会をこれまでに2016年2月10日、22日に実施。

2015年度夏期（11人）

年間推測積算線量の度数分布
(BGの減算なし)



年間推測追加積算線量の度数分布
(BGを年間0.35mSv相当とした場合)

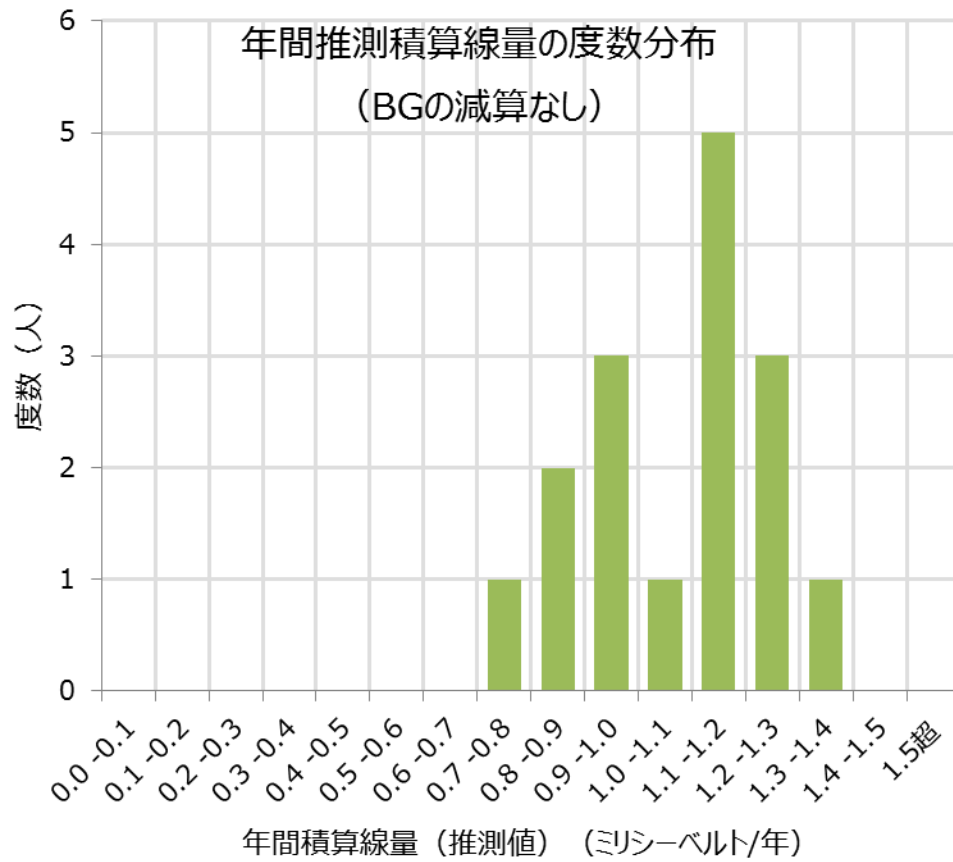


	年間推測積算量□ (ミリシーベルト/年)
最大値	1.34
最小値	0.78
平均値	1.05
中央値	1.01

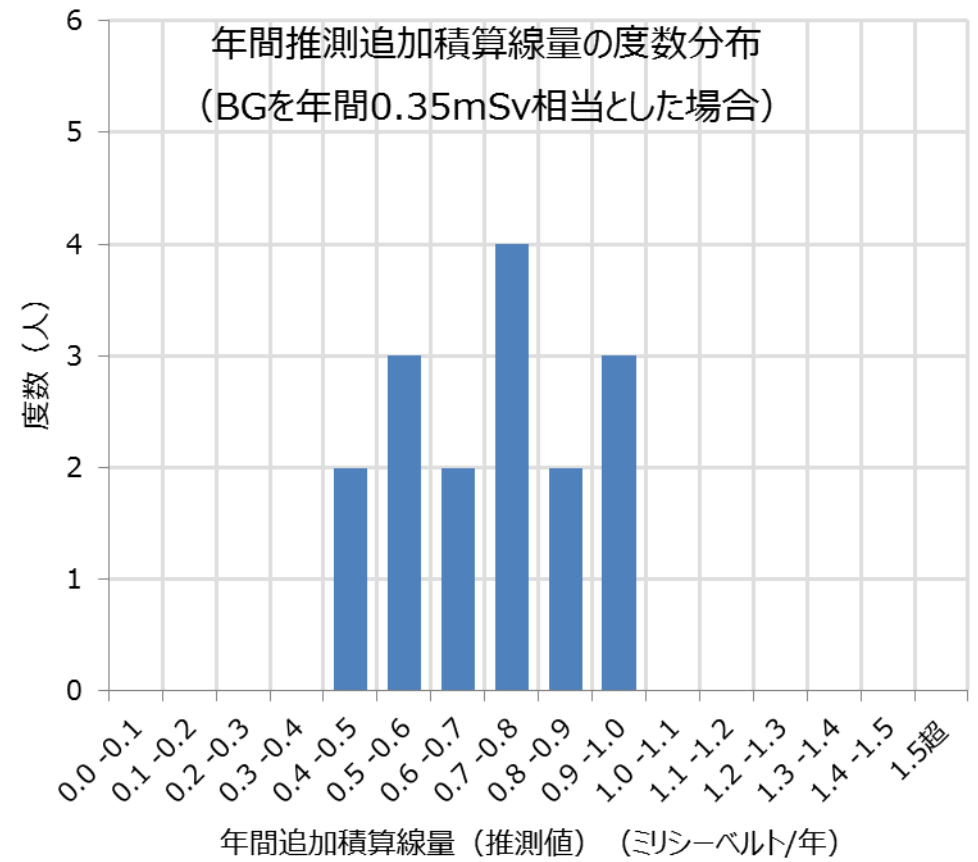
	年間推測積算量□ (ミリシーベルト/年)	年間推測追加被ばく量□ (ミリシーベルト/年)
最大値	1.34	0.99
最小値	0.78	0.43
平均値	1.05	0.70
中央値	1.01	0.66

2015年度秋冬期 (11+5人)

年間推測積算線量の度数分布
(BGの減算なし)



年間推測追加積算線量の度数分布
(BGを年間0.35mSv相当とした場合)



	年間推測積算量□ (ミリシーベルト/年)
最大値	1.34
最小値	0.78
平均値	1.07
中央値	1.01

	年間推測積算量□ (ミリシーベルト/年)	年間推測追加被ばく量□ (ミリシーベルト/年)
最大値	1.34	0.99
最小値	0.78	0.43
平均値	1.07	0.72
中央値	1.01	0.66